

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2003-528936(P2003-528936A)

【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2001-510422(P2001-510422)

【国際特許分類】

**C 0 8 F 220/54 (2006.01)**

**A 6 1 K 8/72 (2006.01)**

**A 6 1 K 8/00 (2006.01)**

**A 6 1 Q 5/00 (2006.01)**

**A 6 1 Q 19/00 (2006.01)**

**C 0 8 F 220/06 (2006.01)**

**C 0 8 F 220/10 (2006.01)**

**C 0 8 F 224/00 (2006.01)**

**C 0 8 F 226/02 (2006.01)**

**C 0 8 F 290/06 (2006.01)**

**C 0 8 K 3/34 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/10 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/20 (2006.01)**

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**C 0 9 K 8/04 (2006.01)**

**D 2 1 H 17/37 (2006.01)**

**D 2 1 H 21/10 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 F 220/54

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/48

C 0 8 F 220/06

C 0 8 F 220/10

C 0 8 F 224/00

C 0 8 F 226/02

C 0 8 F 290/06

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 5/10

C 0 8 K 5/20

C 0 8 L 101/00

C 0 9 K 7/02 C

D 2 1 H 17/37

D 2 1 H 21/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 a. ) 20 ~ 95 モル%のハロゲン化アクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化メタクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化メチロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、メチル硫酸メチロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化アクリロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、またはハロゲン化ジメチルジアリルアンモニウムと、

b. ) 5 ~ 80 モル%のアクリル酸、メタクリル酸、2 - アクリルアミド - 2 - メチルプロパンスルホン酸、または2 - メタクリルアミド - 2 - メチルプロパンスルホン酸と、

c. ) 0.0001 から 1 モル%の N, N' - メチレンビスアクリルアミド、塩化トリアリルメチルアンモニウム、アリルメタクリレート、N - メチロールアクリルアミド、ポリエチレングリコールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ジエチレングリコールジメタクリレート、1, 6 - ヘキサジオールジメタクリレート、またはアリルスクロースと、

d. ) 1 ~ 50 モル%の C<sub>1</sub> - C<sub>3</sub> アルキルアクリレート、C<sub>1</sub> - C<sub>3</sub> アルキルメタクリレート、アクリルアミド、N - アルキルアクリルアミド、メタクリルアミド、N - アルキルメタクリルアミド、またはジアセトンアクリルアミドと、

を含む、分岐又は架橋両性電解質ポリマーを 0.1 重量% から 10 重量% 美容上受容可能な媒体に含み、

粘度により決定された前記ポリマーの重量平均分子量は、少なくとも 10,000 であることを特徴とする毛髪、肌及び爪の処理組成。

【請求項 2】 a. ) 20 ~ 95 モル%のハロゲン化アクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化メタクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化メチロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、メチル硫酸メチロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、ハロゲン化アクリロイロキシエチルトリメチルアンモニウム、またはハロゲン化ジメチルジアリルアンモニウムと、

b. ) 5 ~ 80 モル%のアクリル酸、メタクリル酸、2 - アクリルアミド - 2 - メチルプロパンスルホン酸、または2 - メタクリルアミド - 2 - メチルプロパンスルホン酸と、

c. ) 0.0001 から 1 モル%の N, N' - メチレンビスアクリルアミド、塩化トリアリルメチルアンモニウム、アリルメタクリレート、N - メチロールアクリルアミド、ポリエチレングリコールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ジエチレングリコールジメタクリレート、1, 6 - ヘキサジオールジメタクリレート、またはアリルスクロースと、

d. ) 1 ~ 50 モル%の C<sub>1</sub> - C<sub>3</sub> アルキルアクリレート、C<sub>1</sub> - C<sub>3</sub> アルキルメタクリレート、アクリルアミド、N - アルキルアクリルアミド、メタクリルアミド、N - アルキルメタクリルアミド、またはジアセトンアクリルアミドと、

を含む、分岐又は架橋両性電解質ポリマーを 0.1 重量% から 10 重量% 美容上受容可能な媒体に含み、

粘度により決定された前記ポリマーの重量平均分子量は、少なくとも 10,000 である組成と、毛髪、肌または爪を接触させることを含む、毛髪、肌または爪を処理する方法。

【請求項 3】 a ) は塩化メタクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、b ) はアクリル酸、c ) は N, N' - メチレンビスアクリルアミド、及び d ) はメチルアクリレートであることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記分子量が 50,000 から約 10,000,000 の範囲であることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】 前記分岐又は架橋両性電解質ポリマーが a. ) 25 ~ 75 モル%の塩化アクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、塩化メタクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム、または塩化ジメチルジアリルアンモニウムと、

b. ) 25 ~ 75 モル%のアクリル酸、またはメタクリル酸と、

c. ) 0.0001 から 0.1 モル%の N, N' - メチレンビスアクリルアミド、塩化

トリアリルメチルアンモニウム、またはアリルスクロースと、

d . ) 1 ~ 3 5 モル % の  $C_1 - C_3$  アルキルアクリレート、 $C_1 - C_3$  アルキルメタクリレート、アクリルアミド、N - アルキルアクリルアミド、メタクリルアミド、N - アルキルメタクリルアミド、またはジアセトンアクリルアミドと、

を含み、

前記ポリマーの前記分子量が、少なくとも 1 0 , 0 0 0 である、請求項 2 に記載の方法

。